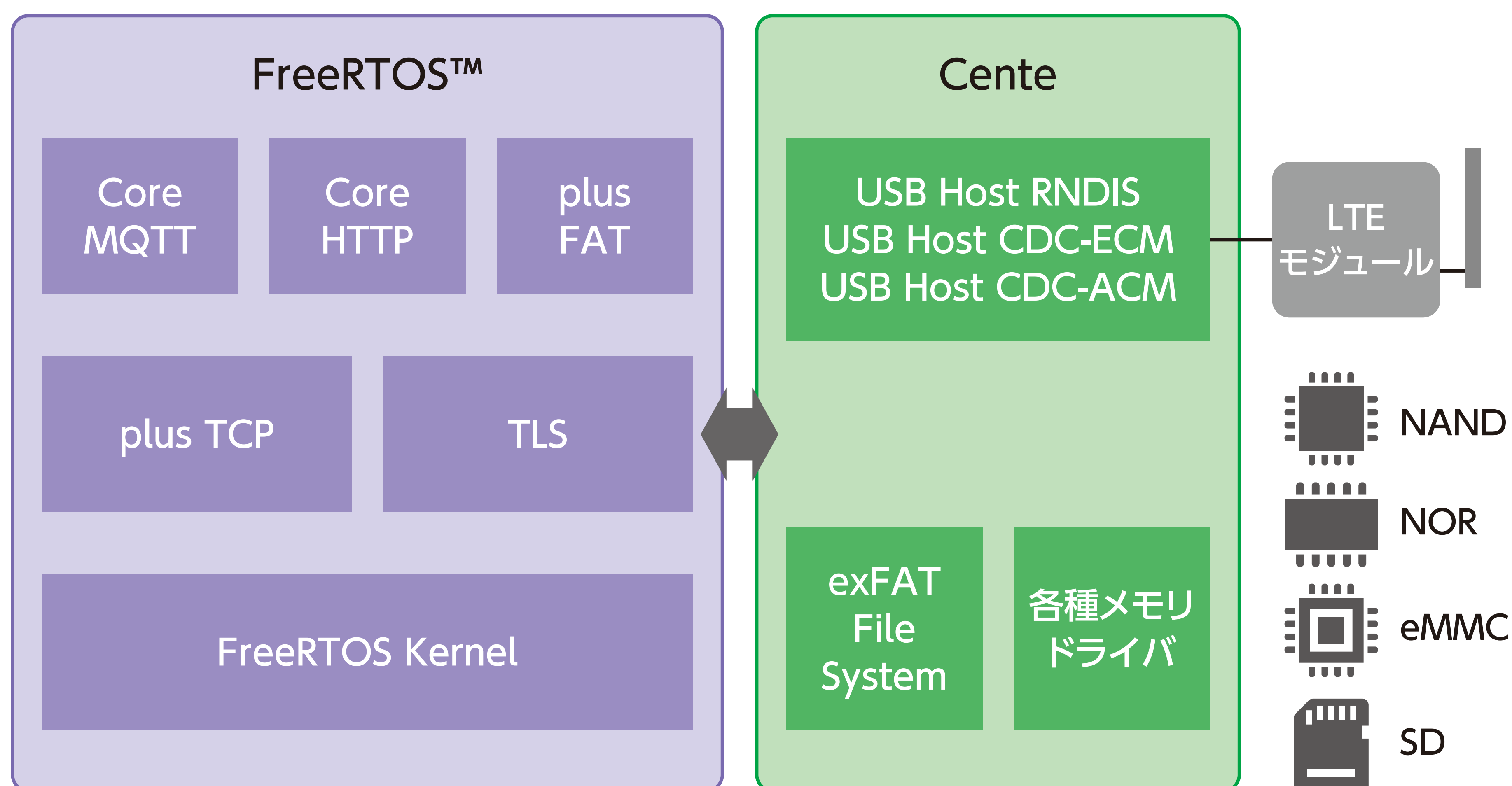


Centeの FreeRTOS™対応

概要

FreeRTOS™環境では、通信プロトコルスタック、セキュアスタック、ファイルシステムなど、組み込みシステムに必要な一般的なライブラリのラインナップはありますが、USBクラスドライバ、メモリドライバなどカバーされていないライブラリも少なくありません。

Centeでは、FreeRTOS™環境ではカバーされていない、様々なライブラリを取り揃えております。



Centeを使用するメリット

- ◆ LTE通信モジュール用のUSB I/FとしてRNDISクラス、CDC-ECMクラス、CDC-ACMクラスに対応
- ◆ 多くのLTEモジュールとの接続実績あり(NTT/SII/Siera Wireless/AM Telecom/Fibocom/Quectel, 他)
- ◆ 大容量ファイル対応のexFATファイルシステムやNAND/NOR/eMMC/SDカードなどの大容量メディアドライバに対応
- ◆ FreeRTOS™に組み込みやすい抽象化レイヤを用意
- ◆ 採用実績3,000ライセンスを超える、高信頼なCente TCP/IPv4やCente FileSystemなどのミドルウェアと置き換え可能
- ◆ 不具合対応・脆弱性対応は保守契約に基づきしっかりサポート



その開発、 オープンソースで大丈夫ですか？

概要

近年、利用が拡大しているオープンソースソフトウェア(OSS)ですが、一方ではサポートやコード品質の不安から、高信頼性分野や大量生産品への採用を躊躇されるケースも見受けられます。Centeでは、このような分野で利用される開発現場でも安心してお使いいただけるソフトウェアをオリジナルのソースコードで提供しております。

オープンソースの課題



課題に対するCenteの取り組み

- ◆ 専用のサポート窓口で1営業日以内での一次回答～解決までサポート
- ◆ 公開された脆弱性情報(CVE情報)を監視し、対象となる脆弱性について迅速に修正パッチを提供(継続的なセキュリティアップデート)
- ◆ 各種パッケージの継続的開発、製品デリバリーに対応
- ◆ 全てCenteオリジナルコードで構成されるため、ライセンス・著作権リスクを回避

